



生涯学習課長 三浦 次七郎

国際芸術祭「あいち2022」ポップ・アップ！in 蒲郡

国際芸術祭「あいち2022」（7月30日開幕）に参加するアーティストのうち11組の作品が、県内4つのまちを巡り蒲郡市生命の海科学館にやってきます。開催期間中にはワークショップ with アーティスト、作品ガイドツアーを行います。ぜひ多くの市民の方に、身近に現代美術に触れていただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 日程 令和4年9月7日（水）から9月12日（月）まで
- 2 場所 蒲郡市生命の海科学館
- 3 主催 国際芸術祭「あいち」組織委員会

■ワークショップ with アーティスト 開催日：9月10日（土）午後2時～
黒田大スケ氏による「心霊わしづかみ！幽霊写真術」

近年幽霊をテーマに活動する黒田氏が古今東西の心霊写真がどのように表現されているかを解説。アーティストと一緒に幽霊にまつわる物語を考えながら、最後にはみんなで心霊写真を撮影します。この夏はみんなで心霊わしづかみ！

（9月2日（金）までに国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局ポップ・アップ！係 popup@aichitoriennale.jp まで氏名、年齢、会場名、電話番号、お住まいの市区町村をメールにて申込）

■作品ガイドツアー 開催日：9月11日（日）午前10時／午後2時（各30分）

■同時開催イベント 開催日：9月10日（土）、23日（金・祝）

☆ 貸切列車～にしがま線は、ミュースカイも走る～

名鉄蒲郡駅から西尾駅間を、中部国際空港行き「ミュースカイ」で運用されている2000系車両を使用して「三河湾号」の系統版を付けた4両編成の貸切列車を運行します。（要申込、問合せ先：蒲郡市交通防犯課）

問い合わせ先 生涯学習課 担当 廣中 TEL 0533-66-1167



貸切列車企画

～にしがま線は、ミュースカイも走る～

※写真はイメージです

対象

親子枠：蒲郡市在住の小学生以下のお子さんとその保護者（1組2人）
一般枠：蒲郡市在住または在勤、在学の方（1応募につき最大2人まで）

定員

各便とも、親子枠43枠86人、一般枠86人の4便合計688人

日時

9月10日（土） ①12：02蒲郡発 ②14：02蒲郡発
9月23日（金・祝） ③12：02蒲郡発 ④14：02蒲郡発

内容

中部国際空港行き「ミュースカイ」で運用されている2000系車両を使用し、「貸切列車」を運行し、西尾～蒲郡間の約40分間の電車の旅をお楽しみいただきます。

費用

親子枠：1組1,000円、一般枠：1人1,000円 ※いずれも記念グッズ付き、帰りの運賃は自己負担

申込・抽選

8月1日（月）～19日（金）に、はがき又は電子申請で申し込みください。

はがきの場合

参加者全員の郵便番号、住所、氏名、生年月日、電話番号、希望日時を記入し、交通防犯課（〒443-8601住所不要）へ。

申し込みは、申込者・同乗者問わず参加者1人につき1回のみ有効。
応募者多数の場合は抽選とし、8月下旬に当選者のみ文書にて連絡します。

免責事項

当日の運行状況により本企画が中止となる場合がございます。

問合せ先

蒲郡市役所交通防犯課 TEL0533-66-1156 ✉ kotsu@city.gamagori.lg.jp

電子申請はこちら



STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから

STILL ALIVE
国際芸術祭
あいち2022

あいち2022

あなたのまちに、芸術祭がやってくる

9月2日(金)

— 9月4日(日)

長久手市文化の家

9月7日(水)

— 9月12日(月)

蒲郡市生命の海科学館

9月16日(金)

— 9月19日(月・祝)

旧中埜半六邸
半田市役所

9月23日(金・祝)

— 9月25日(日)

西尾市文化会館

「あいち2022」ポップ・アップ！は、名古屋市・一宮市・常滑市で開催する国際芸術祭「あいち2022」の現代美術展参加アーティスト82組のうち11組の作品が、県内4つのまちを巡る移動型芸術祭です。「あいち2022」のテーマ「STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから」のエッセンスを感じられる作品を展示しながら、週末にはアーティストによるワークショップやガイドツアーを行います。

ポップ・アップ！ in 長久手

9月2日(金) - 9月4日(日)



会場ウェブサイト



会場：長久手市文化の家 〒480-1166 長久手市野田農201
 開場時間：9:00-19:00 (最終入場は18:30、一部作品は22:00まで)
 アクセス：東部丘陵線(リニモ)「はなみずき通」駅下車、1番出口から徒歩7分
 名鉄バス「長久手文化の家北」バス停下車、徒歩4分

ワークショップwithアーティスト 和合 亮一 / 「#愛の薬: STILL ALIVE (いまだ生きている) からはじまる言葉」



展示風景：和合「わたしたちはまだ林檎の中で眠ったことがない」第27回萩原朔太郎賞受賞者 和合亮一展
 水と緑と詩のまち 前橋文学館、群馬
 Photo: 木暮伸也
 写真提供: 水と緑と詩のまち 前橋文学館

「あいち2022」のテーマ「STILL ALIVE」は、愛知県出身のアーティスト、河原温(かわら・おん)の作品から着想しています。言葉を表現の中心とした河原の作品から出発し、当展に出品された和合さんの即興的な詩の書き方を体験しながら、詩の創作にチャレンジします。

日時：9月4日(日) 10:00-12:00 申込期限：8月26日(金)

対象：中学生以上 / 定員：20名 / 参加無料・要申込(先着順・定員に満たない場合は当日参加可)

作品ガイドツアー 9月3日(土) 11:00 / 14:00 (各30分間)
 集合場所：長久手市文化の家 1階受付前

同時開催イベント 『長久手市文化の家×愛知県立芸術大学 アートショップ』

開催日時：9月2日(金) - 4日(日) 10:00 - 17:00
 ポップ・アップ会場に限定オープン！愛知芸大教授陣推薦の学生や卒業生達の、ここでしか手に入らないアート作品が購入出来ます！ お問合せ先：0561-61-3411 長久手市文化の家

ポップ・アップ！ in 蒲郡

9月7日(水) - 9月12日(月)



会場ウェブサイト



会場：蒲郡市生命の海科学館 〒443-0034 蒲郡市港町17-17
 開場時間：9:00-17:00 (最終入場は16:30) / アクセス：JR蒲郡駅・名鉄蒲郡駅南口から徒歩3分

ワークショップwithアーティスト 黒田 大スケ / 「心霊わしづかみ！幽霊写真術」(第1回)



黒田 大スケ「ドグサのためのプラクティス」2020

近年幽霊をテーマに活動する黒田さんが、古今東西の心霊写真がどのように表現されているかを解説。アーティストと一緒に幽霊にまつわる物語を考えながら、最後にはみんなで心霊写真を撮影します。この夏は、みんなで心霊わしづかみ！

日時：9月10日(土) 14:00-16:00 申込期限：9月2日(金) ※半田市会場のワークショップと同じ内容です。

対象：小学生～一般(小学3年生以下は保護者同伴) / 定員：10名(保護者の同伴は1名まで)
 参加無料・要申込(先着順・定員に満たない場合は当日参加可)

作品ガイドツアー 9月11日(日) 10:00 / 14:00 (各30分間)
 集合場所：蒲郡市生命の海科学館 サイエンスショールーム

新型コロナウイルス対策のため入館規制を行なっている場合がございます。ご入館の予約は蒲郡市生命の海科学館のウェブサイトをご覧ください。(定員に達していない場合は当日予約可。)

同時開催イベント 『にしがま線で貸切列車』開催日：9月10日(土)、23日(金・祝)

中部国際空港行き「ミュースカイ」2000系の車両を使用した「貸切列車」が『三河湾号』のオリジナル系統板を付け、西尾～蒲郡間を直通で運行します。
 お問合せ先：0533-66-1156 名鉄西尾・蒲郡線活性化協議会事務局 (蒲郡市市民生活部交通防犯課内)

ワークショップお申込み方法

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局 ポップ・アップ!係

popup@aichitriennale.jp

までメールで下記の内容を記載してお送りください

件名：「あいち2022 ポップ・アップ！ワークショップ参加申込」

- ①氏名 ②年齢 ③ワークショップの参加を希望する開催地名
- ④メールアドレス ⑤ご連絡のつく電話番号 ⑥お住いの地域(市区町村まで)

※FAXでお申込みの場合は、右記のお問合せ先へ、必要事項をご記入のうえお送りください。
 ※同時開催イベントについては、各主催者にお問合せください。

申込締切

会場ごとに異なりますので、それぞれ締切日までにお申し込みください。
 ※先着順。定員になり次第締め切ります。

お申込み後のご連絡

お申込み後、担当より申込受付完了のご連絡をします。お申込みから3日(土日祝除く)経っても連絡がない場合は、右記のお問合せ先へご連絡ください。

【注意事項】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントのスケジュール、内容は変更になることがあります。最新情報およびイベントの詳細は「あいち2022」公式ウェブサイト内ポップ・アップ！専用ページをご覧ください。右記のお問合せ先までご連絡ください。

ポップ・アップ！ in 半田

9月16日(金) - 9月19日(月・祝)



会場ウェブサイト



会場：旧中埜半六邸、半田市役所
 開場時間：10:00-17:00 (最終入場は16:30)
 アクセス：旧中埜半六邸 〒475-0873 半田市市中村町1丁目7番地
 名鉄知多半田駅より徒歩10分。または、JR半田駅より徒歩6分
 半田市役所 〒475-8666 半田市東洋町二丁目1番地
 名鉄知多半田駅より徒歩15分。または、JR半田駅より徒歩11分

ワークショップwithアーティスト 黒田 大スケ / 「心霊わしづかみ！幽霊写真術」(第2回)

近年幽霊をテーマに活動する黒田さんが、古今東西の心霊写真がどのように表現されているかを解説。アーティストと一緒に幽霊にまつわる物語を考えながら、最後にはみんなで心霊写真を撮影します。この夏は、みんなで心霊わしづかみ！

日時：9月19日(月・祝) 14:00-16:00 申込期限：9月9日(金) ※蒲郡市会場のワークショップと同じ内容です。

対象：小学生～一般(小学3年生以下は保護者同伴) / 定員：10名(保護者の同伴は1名まで) / 参加無料・要申込(先着順・定員に満たない場合は当日参加可)

作品ガイドツアー 9月17日(土) 10:00 / 14:00 (各30分間) 集合場所：旧中埜半六邸 広場

同時開催イベント 『まちなかdeアート』開催日：9月17日(土) 10:30-11:30、13:30-14:30

半田市内で活躍されているARTエッグの本田さち氏による親子向けのワークショップを開催いたします。
 場所：半六庭園 / お問合せ先：0569-23-7341(半田市生涯学習課) / 対象：小学生から中学校とその保護者(2人1組)
 定員：各回5組 / 参加無料・要申込(先着順・申込方法等につきましては生涯学習課までお問い合わせください)

ポップ・アップ！ in 西尾

9月23日(金・祝) - 9月25日(日)



会場ウェブサイト



会場：西尾市文化会館 〒445-0877 西尾市山下町原30番地

開場時間：9:00-17:00 (最終入場は16:30) / アクセス：名鉄西尾駅から徒歩20分。または、くるりんバス 市街地線・右まわりコースで12分

ワークショップwithアーティスト 尾花 賢一 / 「マスクをアップデート〜デコレーションマスク！！」

マスク生活が定着した今日、相手の表情や素顔が分かりにくく感じることも。今回はそんなマスクをアップデート！顔が隠れていても「自分らしさ」が伝わるマスクを作ります。模様や飾りをつけて自分流にアレンジすることで、わくわくドキドキするようなマスクにしましょう。

日時：9月24日(土) 14:00-16:00 申込期限：9月16日(金)

対象：小・中学生(小学3年生以下は保護者同伴) / 定員：15名(保護者の同伴は1名まで) / 参加無料・要申込(先着順・定員に満たない場合は当日参加可)

作品ガイドツアー 9月25日(日) 10:00 / 14:00 (各30分間)
 集合場所：西尾市文化会館 事務室前

同時開催イベント 『西尾市文化振興イベント2022』開催日：9月23日(金・祝) - 25日(日)

文化施設以外の場所で音楽やアートを感じられる、「まちなか芸術祭」を開催します。
 場所：名鉄西尾駅、西尾市歴史公園ほか。お問合せ先：0563-65-2197 西尾市観光文化振興課



「あいち2022」公式ウェブサイト内ポップ・アップ！専用ページ

【お問合せ先】 国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局

電話番号：052-971-3111 / FAX:052-971-6115 / メール：popup@aichitriennale.jp
 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13-2 愛知芸術文化センター 6階

「あいち2022」の学芸スタッフは、展示作品をわかりやすく解説します。作品をより楽しく鑑賞いただける機会に、ぜひご参加ください。申込不要。開始時間までに各会場の集合場所にお越しください。

小杉大介 Daisuke KOSUGI
 遠藤薫 ENDO Kaori
 黒田大スケ KURODA Daisuke
 カズ・オオシロ Kaz OSHIRO
 升山和明 MASUYAMA Kazuaki
 尾花賢一 OBANA Kenichi
 塩田千春 SHIOTA Chiharu
 和合亮一 WAGO Ryoichi
 渡辺篤 WATANABE Atsushi
 (アイムヒアプロジェクト) (I'm here project)
 イー・イラン YEE I-Lann
 横野明日香 YOKONO Asuka



小杉大介《重力と虹霓》2019
 賢生堂ギャラリー(2019年、東京)での展示風景
 Photo: Kato Ken



渡辺篤(アイムヒアプロジェクト)
 《月はまた昇る》2021
 プロジェクト「同じ月を見た日」より
 (月の写真:アイムヒアプロジェクトメンバー)
 「同じ月を見た日」R16 studio (神奈川)
 Photo: 井上桂祐



イー・イラン《ティカ・レーベン(マツのリボン)》
 2020. With weaving by Kak Roziah, Kak
 Sanah, Kak Kinuhong,
 Kak Koddil Private collection
 Photo: Flanagan Balnon



塩田千春《小さな記憶をつなげて》2019
 Courtesy of Kenji Taki Gallery
 個展「頭がふるえる」森美術館、東京、日本
 写真:Sunhi Mang
 ©JASPAR, Tokyo, 2021 and Chiharu Shiota
 Photo Courtesy: Mori Art Museum



横野明日香《高速道線のある風景》
 2019



升山和明《SHIMIZUYA VIOLET》
 2016- Photo: 林寛正

国際芸術祭「あいち2022」について

「あいち2022」は、国内最大規模の国際芸術祭の一つであり、国内外から多数のアーティストが参加します。愛知芸術文化センターのほか、一宮市、常滑市、有松地区(名古屋市)のまちなかを会場として広域に展開します。現代美術、パフォーマンスアート、ラーニング・プログラムなど、ジャンルを横断し、最先端の芸術を「あいち」から発信します。

テーマ STILLALIVE 今、生き抜くアートのちから

芸術監督 片岡真実(森美術館館長、国際美術館会議(CIAM)会長) / 会期 2022年7月30日(土)~10月10日(月・祝)[73日間]
 主な会場 愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区(名古屋市) / 主催 国際芸術祭「あいち」組織委員会



公式Webサイト